

資料 1

第9次土浦市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画（案）パブリック・コメント実施結果について

1 実施結果

募集期間	令和5年12月15日（金）～令和6年1月9日（火）
市ホームページ閲覧数	78件
意見提出者数	2人
意見数	4件

2 提出された意見とその意見に対する考え方

No	意見の要旨及び内容	意見に対する考え方
1	総論 第2章、第4節 3 調査結果 (計画書案P14) 趣味活動を含め、地域活動の多様性が必要ではないか。絵画、習字、童謡のほか、ゲートボールやグラウンドゴルフなど、見聞きする高齢者の活動は同じようなものが多い。 例えば、ラジコン自動車、テレビゲーム、釣り、畑仕事など、多様なニーズを拾い上げているか。	趣味活動の場については、各論第1章第1節Ⅰ総合事業の5「生きがい対応型デイサービス事業」や、同第3節Ⅱ「生きがいづくり事業」の中で提供しています。生きがい対応型デイサービスでは、歌や楽器、グラウンドゴルフ、各種運動・体操、健康麻雀等を実施しており、生きがいづくり事業の高齢者趣味クラブ・生きがい教室では、民謡や民舞、書道、陶芸といった活動の場を提供しています。 ご意見にあるような、多様な趣味活動への支援は現在のところ行っておりませんが、ニーズの変化を捉えながら、事業内容の見直しを検討していきます。
2	総論 第2章、第4節 3 調査結果 (計画書案P15) 認知症の相談窓口についての調査に関連して、介護関係者と関わりがない方のために、相談に限らず、市事業の周知や広報・啓発等についても、地域に広く間口を持つ医療機関をうまく活用する取組を強化してはどうか。	市民が認知症等に関する相談先や情報を得るきっかけとして、地域のかかりつけ医をはじめとした関係機関に協力を仰ぎ、周知等の強化を図っていきます。

2 提出された意見とその意見に対する考え方

No	意見の要旨及び内容	意見に対する考え方
3	総論 第2章、第4節 3 調査結果 (計画書案P16) ----- 家族の就労が当たり前の時代に、介護の質や量は不十分と感じる。	在宅介護実態調査では、働きながら介護を続けることが難しいと感じている介護者の割合は13.6%となっており、具体的には、家事負担や認知症状への対応に不安を感じている方が多いという結果が出ています。 介護需要が拡大する一方で、介護人材の不足が深刻化していることから、総論第6章の重点施策Ⅳ「安心して暮らせる環境づくり」に記載しているように、今後も介護サービスの充実や介護人材の確保・育成及び定着への支援を図っていきます。
4	各論 第1章、第1節 21 地域ケア会議事業 (計画書案P84) ----- 介護支援専門員更新研修では、困難ケースの相談先として、地域ケア会議の活用を推奨している。国の指導も同様である。そこで、介護支援事業所に会議への参加と困難ケースの提出を呼びかけてはどうか。 このことにより、介護支援専門員のサポートにもなり、広く地域のニーズと実態をとらえることが期待できる。	スクラムネットやふれあい調整会議を活用して地域ケア会議を推進します。あわせて、それぞれの会議開催について、介護支援専門員への周知も行っていきます。